

笑顔あふれる地域に…



1. 食料品から日用雑貨まで、さまざまな商品が並んでいます 2. 誰でも気軽に利用できる休憩スペースは、使い方もいろいろ 3. 「すまいる」スタッフの皆さん。お客さんが入りやすい雰囲気づくりを心掛けています

買い物弱者支援、地域や商店の活性化などを目的とした「村民の店「すまいる」」が十一月十日、図書館の隣にオープンしました。コンセプトは「村民の笑顔がみたい：買い物支え・心のお店」。スタートしたばかりで、多くの可能性を秘めているお店をご紹介します。

買い物弱者支援など 地域活性化につなげる

村内商店・事業所の減少や高齢者世帯の増加が進むにつれ、日常の買い物に不便を感じる「買い物弱者」が増えています。この対策として、村商工会と村では、経済産業省の地域自立型買い物弱者対策支援事業の採択を受け、空き店舗を活用した「村民の店「すまいる」」を開設しました。この店舗は買い物弱者支援はもちろん、店舗内の休憩スペースを利用した地域住民のコミュニティ再生を促す複合施設で、新たな雇用の創出

も目的の一つとしています。 食料品から日用雑貨 幅広い品ぞろえ

店舗には、食料品から日用雑貨、村の特産品などが並び、幅広い品ぞろえとなっています。商品は、村内の十七商店・事業所と連携し、仕入れを行っています。これによって、既存商店の活性化につなげるねらいがあります。今後、利用者の要望などを取り入れて品ぞろえを充実させていく予定です。また、店舗販売のほか、宅配や移動販売を十二月中に開始する予定で、既存の移動販売を行う商店

と協議・連携を図りながら計画を進めています。これにより、村民の利便性を向上させるだけではなく、高齢者世帯などの安否確認やコミュニケーションを図り、安心して生活できる環境づくりにも取り組んでいきます。

買い物だけでなく コミュニティの場としても

店内には、商品が並んでいるだけではなく、広い休憩スペースを設けています。放課後の子どもたちが保護者の迎えを待ったり、高齢者のよりどころになったりと、子どもから高齢者までが気軽に利用できる場所となっています。また、このスペースを利用したイベントなどの開催も視野に入れ、新たなコミュニティ形成の場として

て、地域に根ざした店舗を目指していきます。

今後、さらに多くの方に利用してもらえる店舗になるよう、皆さんの意見や要望などをお寄せください。

村民の店「すまいる」

- ☎ 午前9時～午後7時30分
(12月30日、1月2日は午前9時から午後6時まで)
- ☎ 毎月第1木曜日
12月31日、1月1日
- ☎ 大字赤坂中野字新宿64番地1
☎ 57-6901 FAX 57-6902

INTERVIEW



村民の店「すまいる」
店長 須藤真紀さん

お客様からは「近くで買い物ができていい」「地域が明るくなった」などの声をいただいています。皆さんの声を聞きながら、「お店があっただけよかった」と言ってもらえるような店づくりをしていきたいと思えます。これからは、宅配や移動販売も行っていきます。「高齢者の足」になれるように努力していきます。

「笑顔が集まる。笑顔でつながる」ようなお店の雰囲気づくりをし、村全体の活性化につなげられるようにしたいです。

スタッフ一同、皆さんのお越しを笑顔でお待ちしております。

VOICE



藤元良子さん
優雅くん
(赤坂西野字藤平在住)

図書館で待っている子どもの迎えのついでに、お店に入りました。子どもが「お腹がすいた」と言うので、子どものおやつと不足している食材を買いました。

思っていたよりもいろいろな物を売っていて、スーパーが凝縮されたようなお店ですね。



鈴木一良さん
(赤坂中野字新宿在住)

車を運転できないお年寄りにとって、近場で買い物ができるということは、とても助かると思います。

また、買い物をするだけの場所ではなく、休憩スペースを利用してお年寄りがお茶飲みをしたり、イベントを開催したり、交流の場としても使っていきたいです。